

平成27年度本部事業報告

法人本部では、今年度も神奈川県聴覚障害者福祉センター事業を除く民間企業や教育機関、県行政及び市町村等に対し、有料で手話通訳者等派遣事業、講師等派遣事業を行った。

また、神奈川県委託事業として神奈川県盲ろう者通訳・介助員事業を、相模原市および横須賀市からの委託事業として手話通訳者養成事業および要約筆記者養成事業を実施した。

今年度の特徴と課題は次の通りである。

- ① 市町村の必須事業であり、「円滑なコミュニケーションを図ることにより、自立と社会参加の促進を資することを目的」とされている意思疎通事業への支援は、今後、市町村が主体的に事業を実施していく方向での支援が重要だと考え、企業等への派遣とは別枠でくくることとした。
- ② 障害者総合支援法に定める意思疎通支援事業で、政令指定都市および中核市において手話通訳者および要約筆記者の養成が必須事業化されたため、相模原市と横須賀市から養成事業の委託を受けており今年度も継続した。
- ③ 年度末に障害者差別解消法への対応、神奈川県手話言語条例での「神奈川県手話推進計画」のまとめなどが出され、合理的配慮への対応等の相談が寄せられてきている。意思疎通支援者、特に手話通訳者が不足していることが大きな課題としてのしかかってきており、早急な対策の検討が必要となっている。
- ④ 本部事業の目的と課題の整理、関係団体との目的と課題の共有と課題解決へ向けた取り組みが必要である。

1 手話通訳者等事業

(1) 市町村意思疎通支援事業への対応

聴覚障害者個人への手話通訳派遣は市町村の必須事業であるが、登録者が少ないことなどの理由により、19市町村から手話通訳派遣申請があり対応した。要約筆記者については、8市町村から要約筆記派遣申請があり対応した。

ア 手話通訳者派遣件数・派遣人数実績

区分	派遣件数	派遣人数
相模原市	69件	78人
平塚市	116件	140人
鎌倉市	4件	5人

藤沢市	1件	2人
小田原市	3件	3人
茅ヶ崎市	3件	5人
厚木市	2件	3人
伊勢原市	4件	5人
座間市	38件	38人
綾瀬市	1件	1人
大磯町	1件	1人
二宮町	9件	11人
大井町	4件	5人
松田町	4件	5人
山北町	12件	12人
開成町	26件	28人
湯河原町	2件	2人
愛川町	44件	46人
清川村	1件	2人
合計	344件	392人

(ア) ケース会議の開催

手話通訳派遣事業での困難ケースへの対応として市担当課に働きかけ、市担当課、関係団体、法人とでケース会議を行った。

イ 要約筆記者派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数			派遣人数		
	手書き	パソコン	計	手書き	パソコン	計
相模原市	2件	13件	15件	6人	40人	46人
平塚市	2件	0件	2件	4人	0人	4人
藤沢市	0件	3件	3件	0人	12人	12人
小田原市	1件	0件	1件	1人	0人	1人
茅ヶ崎市	1件	1件	2件	1人	1人	2人
厚木市	0件	3件	3件	0人	6人	6人
伊勢原市	2件	0件	2件	2人	0人	2人
座間市	2件	0件	2件	2人	0人	2人
合計	10件	20件	30件	16人	59人	75人

(2) 手話通訳者派遣

4月には新入社員研修による企業等からの申請が集中するため手話通訳者の確保が困難であった。平日の日中に派遣できる手話通訳者不足が大きな課題である。

手話言語条例の制定にともない県機関の派遣が増加したが全体としては減少。事業の普及を目的に派遣のしおりを企業等へ発送した。

平成28年4月より当センターの警備システムが警備員配置から機械警備に変更するに伴い、閉館時に警察が手話通訳を必要とする際は、神奈川県警察本部通訳センターから直接、手話通訳者へ派遣要請の連絡を取ることとなり、手話通訳者へ協力を依頼し、名簿を作成し提出した。

派遣件数は昨年度対比で88.1%、派遣人数は昨年度対比で88.5%であった。通訳者不足の現状と合理的配慮の視点から、今後は聴覚障害者の参加のない行事等への派遣も早急に見直しが必要な検討課題となっている。

手話通訳者派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
企 業 等	222 件	480 人
県 機 関	199 件	326 人
教 育 機 関	130 件	277 人
司 法 機 関	13 件	13 人
政 党 関 係	10 件	20 人
個 人	1 件	2 人
そ の 他	155 件	306 人
合 計	730 件	1,424 人

(3) 要約筆記者派遣

要約筆記の申請の中には、日常的に手話を利用していても、講演や講習会などでは要約筆記を利用したいというニーズがある。

申請集中時には、企業等へ派遣できる要約筆記者の確保が大変困難である。要約筆記者の質・技術の向上が大きな課題である。

要約筆記を必要としている難聴者や中途失聴者の認知度が、まだまだ低く社会に浸透していないことや難聴者・中途失聴者自身が要約筆記を希望し職場に働きかける等の例も少ないのが現状である。引き続き要約筆記の必要性について、情報提供に努めたい。

昨年度対比では、派遣件数は117.1%、派遣人数は135.3%であった。

要約筆記者派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数			派遣人数		
	手書き	パソコン	計	手書き	パソコン	計
企 業 等	14 件	110 件	124 件	32 人	427 人	459 人
県 機 関	1 件	20 件	21 件	2 人	78 人	80 人
教育機関	27 件	42 件	69 件	54 人	103 人	157 人
司法機関	1 件	1 件	2 件	2 人	4 人	6 人
政党関係	0 件	1 件	1 件	0 人	4 人	4 人
個 人	0 件	0 件	0 件	0 人	0 人	0 人
そ の 他	10 件	31 件	41 件	25 人	121 人	146 人
合 計	53 件	205 件	258 件	115 人	737 人	852 人

(4) 講師等派遣

手話講習会や手話サークル、地域において聴覚障害者に関する理解を深める学習会、聴覚障害者と共に働く職場の集まりなどに、講師等を派遣し、手話の普及、聴覚障害者への理解の促進等により、聴覚障害者が社会参加しやすい環境づくりを目指す事業である。

事業の普及を目的にセンターホームページの改訂とリーフレットの作成を行い、企業等へを発送した。

神奈川県手話言語条例の制定にともない、県職員を対象とした手話講習会の講師派遣の依頼が多くあったが、2つの市町村の手話奉仕員養成などの講師等の派遣がなくなったことや一部が講習会受託事業に移行したことにより、派遣件数は昨年度対比で76.7%、派遣人数は昨年度対比で74.4%と減少した。

講師等派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
企 業 等	6 件	11 人
県 機 関	18 件	54 人
市町村機関	2 件	3 人
教育機関	101 件	186 人
サークル	10 件	10 人
社会福祉協議会	1 件	1 人
そ の 他	23 件	29 人
合 計	161 件	294 人

(5) 講習会受託事業

企業や行政機関等から講習会受託の要請を受け、カリキュラム等を構成し講師及びアシスタント等を派遣するもの。各行政機関においては、最終的に自らが聴覚障害者団体や関係団体と協力し企画・運営が出来るまでの役割として位置付けている。

市町村の要約筆記者養成講習会及び現任研修の講習会を受託し講師等の派遣をした。

講習会受託事業派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
企 業 等	0 件	0 人
県 機 関	0 件	0 人
市町村機関	13 件	24 人
教 育 機 関	0 件	0 人
サークル	0 件	0 人
社会福祉協議会	0 件	0 人
そ の 他	0 件	0 人
合 計	13 件	24 人

2 盲ろう者通訳・介助員関係事業（神奈川県委託事業）

(1) 神奈川県盲ろう者通訳・介助員養成事業

県より委託を受け、盲ろう者向け通訳・介助員を養成する事業を行った。

ア 回 数 全 10 回

イ 開 催 日 7 月 11 日 (土)、18 日 (土)、25 日 (土)
8 月 8 日 (土)、22 日 (土)、29 日 (土)
9 月 5 日 (土)、12 日 (土)、19 日 (土)、26 日 (土)

ウ 時 間 10 : 00 ~ 16 : 00

エ 会 場 よこはま看護専門学校、神奈川県聴覚障害者福祉センター等

オ 対 象 者 神奈川県内に在住・在勤・在学する、20 歳以上 (申込時) で、基本的に講習会全回の受講が可能な方。また、修了後は、通訳・介助員として登録し派遣を担える者。

カ 受講者数 22 人

キ 修了者数 21 人

(2) 神奈川県盲ろう者通訳・介助員派遣事業

県からの委託を受け、視覚と聴覚の両方に障害のある方 (盲ろう者) にコミュニケーションの支援や外出時の移動介助を行う通訳・介助員を派遣する事業を行った。

年々、盲ろう者の社会参加が増加している中で、予算の範囲内での派遣利用となるため、平成 25 年度から会議等の通訳・介助員の派遣人数を、本来は 3 人派遣が望ましい

ところを2人派遣とし、盲ろう者が利用できる派遣時間を確保する取り組みを行なっている。また、派遣利用時間数が比較的多い盲ろう者には、派遣利用時間の上限を設けることをお願いした。

盲ろう者の社会参加のためには、本来は十分な派遣人数の確保と派遣利用時間が必要である。国レベルでは、個人給付への移行も検討されている。盲ろう者通訳・介助員派遣事業のあるべき姿についての検討が課題である。

派遣件数は、昨年度対比で103.7%、派遣人数は昨年度対比で101%であった。

ア 登録者数

(ア) 登録盲ろう者通訳・介助員数 286人

(イ) 登録盲ろう児者数 57人

イ 通訳・介助員派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
公 的 機 関	23 件	33 人
医 療 機 関	306 件	316 人
会 議 等	222 件	497 人
冠 婚 葬 祭	6 件	7 人
大会・行事等	148 件	224 人
ゆりの会行事等	74 件	122 人
学 校 関 係	25 件	46 人
就 職 ・ 就 学 等	0 件	0 人
買 物	408 件	409 人
そ の 他	1,059 件	1,305 人
合 計	2,271 件	2,959 人

ウ 登録盲ろう者の訪問調査等

盲ろう者からの相談や現状把握、また盲ろう者と介護事業所等との合同カンファレンスへの参加のため、訪問を行なった。

(ア) 訪問回数 6回

(イ) 訪 問 日 平成27年6月14日(日)、8月24日(月)、9月18日(金)

12月16日(水)、12月18日(金)

平成28年2月27日(土)

(3) 神奈川県盲ろう者通訳・介助員現任研修

県より委託を受け、盲ろう者通訳・介助員として必要な通訳技術、介助技術及び知識を習得することにより資質の向上を図る登録通訳・介助員の現任研修を6回実施した。

ア 第1回

- (ア) 日 時 平成28年1月15日(金) 18:30~20:45
- (イ) 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター
- (ウ) 内 容 頸肩腕障害について
- (エ) 講 師 武田 紀子 氏(芝大門クリニック 医療トレーナー)
- (オ) 参加人数 25人

イ 第2回

- (ア) 日 時 平成28年1月29日(金) 18:30~20:45
- (イ) 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター
- (ウ) 内 容 模擬場面「お通夜の対応」
- (エ) アドバイザー 木村 誠 氏(神奈川県盲ろう者通訳・介助員)
三田 幸司 氏
(神奈川県盲ろう者ゆりの会 コミュニケーション対策部長)
- (オ) 参加人数 32人

ウ 第3回

- (ア) 日 時 平成28年2月5日(金) 18:30~20:45
- (イ) 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター
- (ウ) 内 容 高齢盲ろう者の困難と支援
- (エ) 講 師 前田 晃秀 氏(東京盲ろう者支援センター センター長)
- (オ) 参加人数 34人

エ 第4回

- (ア) 日 時 平成28年2月21日(日) 13:00~17:00
- (イ) 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター
- (ウ) 内 容 実技研修「状況説明と情報保障の在り方」
- (エ) 講 師 川島 朋亮 氏(神奈川県盲ろう者ゆりの会 会長)
久松 京子 氏(神奈川県盲ろう者通訳・介助員)
- (オ) 参加人数 38人

オ 第5回

- (ア) 日 時 平成28年3月2日(水) 18:30~20:45
- (イ) 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター
- (ウ) 内 容 移りゆく盲ろう者福祉制度の現状
- (エ) 講 師 山下 正知 氏(全国盲ろう者協会 事務局長)
- (オ) 参加人数 31人

カ 第6回

- (ア) 日 時 平成28年3月18日(金) 18:30~20:45
(イ) 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター
(ウ) 内 容 盲ろう者にとって大切なもの
(エ) 講 師 藤鹿 一之 氏(東京盲ろう者友の会 理事長)
(オ) 参加人数 47人

(4) 神奈川県盲ろう者通訳・介助員頸肩腕障害健診

神奈川県盲ろう者通訳・介助員の内、年60回以上の派遣業務を担っている者を対象に健診を行った。

健診は、手話通訳者、要約筆記者を対象として実施している芝病院健診センターの来所健診に加わった。

- ア 対象者数 10人(平成27年6月20日現在)
イ 受診者数 6人
ウ 健診結果

区 分	人数
問題は特になし	1人
差し支えなし	4人
要観察	1人

3 手話通訳者・要約筆記者の養成事業(相模原市・横須賀市委託事業)

障害者総合福祉法の施行に伴い、意思疎通支援事業において、手話通訳者及び要約筆記者の養成は都道府県及び政令市・中核市の必須事業と定められた。これに関して相模原市から手話通訳者の養成、横須賀市から手話通訳者及び要約筆記者(パソコン)の養成につき当法人に委託があり、神奈川県聴覚障害者福祉センターの神奈川県手話通訳者養成講習会および神奈川県要約筆記者養成講習会に参加する形で実施した。

(1) 相模原市手話通訳者養成委託事業

- ア 集中講義 受講者 9人 延人数 74人
イ 学科試験 受験者 9人 合格者 6人
ウ 技術試験 受験者 5人 合格者 1人
エ 養成コース 受講者 1人 延人数 25人
オ 特別養成コース 受講者 1人 延人数 9人
カ 神奈川県手話通訳者認定試験 受験者1人 合格者0人
キ 合格者研修 受講者 0人

(2) 横須賀市手話通訳者養成委託事業

ア 集中講義	受講者	5人	延人数	37人
イ 学科試験	受験者	5人	合格者	2人
ウ 技術試験	受験者	5人	合格者	2人
エ 養成コース	受講者	3人	延人数	74人
オ 特別養成コース	受講者	0人	延人数	0人
カ 神奈川県手話通訳者認定試験	受験者	1人	合格者	0人
キ 合格者研修	受講者	0人		

(3) 横須賀市要約筆記者（パソコン）養成委託事業

ア 養成講習会	受講者	2人	延人数	75人
イ 認定試験（学科）	受験者	2人	合格者	1人
ウ 認定試験（実技）	受験者	2人	合格者	1人
エ 認定者数		1人		

4 その他の事業

(1) 手話通訳者・要約筆記者研修

ア 手話通訳者研修会

(ア) 第1回

日 時	平成 27 年 11 月 6 日（金）	18：30～20：30
テ ー マ	事例研修（現場対応について）	
助 言 者	熊谷 徹 氏（公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会 副理事長） 本多 綾乃（神奈川県聴覚障害者福祉センター 所長）	
参加人数	38人	

(イ) 第2回

日 時	平成 28 年 2 月 28 日（日）	13：00～16：00
テ ー マ	手話通訳技術 聞き取り技術を学ぶ	
講 師	野口 岳史 氏 (国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科教官)	
参加人数	53人	

(ウ) 第3回

日 時	平成 28 年 3 月 31 日（木）	18：30～20：30
テ ー マ	実技研修会	
進 行 役	手話通訳者派遣担当者	
参加人数	13人	

イ 要約筆記者研修会

日 時 平成 27 年 12 月 13 日 (日) 13 : 00~16 : 00

テ ー マ 『デマンドコントロール・スキーマというツールを使って
「要約筆記」を理解』

講 師 高木 真知子 氏

(日本語—英語通訳—日本手話通訳 手話通訳研究者)

参加人数 38 人

(2) 聴障センターまつり

聴覚障害者に係わる情報発信及び関係団体、地域住民等との交流を目的に実施した。
実施にあたっては、関係団体の協力を得た。

ア 日 時 平成 27 年 10 月 25 日 (日) 10 : 00~15 : 00

イ 場 所 神奈川県聴覚障害者福祉センター、藤沢市薬事センター

ウ 内 容

(ア) 講演「聞こえない私が議員になって」

齊藤 りえ 氏 (東京都北区議会議員)

(イ) ミニ手話教室

(ウ) 茶席

(エ) 盲ろう者コミュニケーション体験

(オ) 要約筆記体験・アニメ等の字幕上映

(カ) 手話コーラス

a 手話サークル「なでしこ」(大和市)

b 手話サークル「かたつむり」(開成町)

(キ) 手話ダンス

a 要約筆記と手話「ひまわり会」(座間市)

(ク) 総合事業紹介

(ケ) 模擬店・バザー

(コ) 書籍販売

(サ) スタンプラリー

エ 来場者数 345 人 (地域別受付集計による)

オ 協力団体

(ア) 公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会

(イ) 神奈川県聴覚障害者連盟

(ウ) 神奈川県中途失聴・難聴者協会

(エ) 神奈川県盲ろう者ゆりの会

(オ) 神奈川県手話通訳者協会

- (カ) 神奈川県要約筆記協会
- (キ) 神奈川県手話サークル連絡協議会
- (ク) 神奈川県要約筆記サークル連絡会
- (ケ) 入町町内会

カ 会場協力

- (ア) 藤沢市薬剤師協会

キ 景品提供

- (ア) オリジナルマリンアート「辻堂水族館」

(3) コピー機、印刷機の貸し出し

利用者の利便を図るため、ロビーにコピー機（コイン式）、印刷機を設置した。

印刷機利用件数 69件

5 関係団体・機関との連絡調整、会議等

(1) 盲ろう者通訳・介助員派遣連絡会

本事業の充実化を図るため、当事者団体の神奈川県盲ろう者ゆりの会と2ヵ月に1回、派遣事業及び養成講習会、現任研修会の意見交換、情報交換を行なった。

回数 5回

構成団体 神奈川県盲ろう者ゆりの会
当協会

(2) 聴障センターまつり打ち合わせ会

聴障センターまつりの開催にあたり、協力団体との打ち合わせを重ねた。

回数 7回

参加団体 公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会
神奈川県聴覚障害者連盟
神奈川県中途失聴・難聴者協会
神奈川県盲ろう者ゆりの会
神奈川県手話通訳者協会
神奈川県要約筆記協会
神奈川県手話サークル連絡協議会
神奈川県要約筆記サークル連絡会
入町町内会
当協会

6 職員の研修

(1) 聴覚障害者関係施設等管理職および中堅職員研修

主 催 社会福祉法人全国手話研修センター

期 日 平成 28 年 2 月 17 日 (水)、18 日 (木)